



自営業者・個人事業主 ファクトブック 2024

アクサがなぜ自営業に注目しているのか

－自営業者・個人事業主に焦点をあてた理由－

AXA Groupは「Act for human progress

by protecting what matters

（すべての人々のより良い未来のために。

私たちはみなさんの大切なものを守ります。）」を

パーパス、存在意義としています。

テクノロジーの目覚ましい進化、世界情勢の

不安定な状況など、変化が加速する

“不確実性の時代”の中、

生き方や働き方も多様化しています。

AXA Groupは働き方の多様化が一層進む中、

リスクを恐れず、自分らしく生きたいという自営業・

個人事業主の皆さまの想いをサポートできるよう、

Being self-employed shouldn't be a risk.

（自営業の未来が決してリスクであってはならない）

を掲げ、自営業・個人事業主の皆さまにフォーカスした

キャンペーンを全世界で実施しています。

この度、アクサジャパンでは、自営業者・

個人事業主/フリーランス・雇用されていない士業・

小規模経営者（従業員5名以下）の方の実態に焦点をあて、

3,000名を対象に調査を実施しました。

現在の職業に就くまでの歩み、働き方に関する意識と実態、

理想の人生や感じているリスクとその対策、

さらにはリスクを恐れずに自分らしく生きたいという

自営業・個人事業主の想いを深掘りしました。

今回の調査結果を通じて、

誰もが自分の人生を主体的にコントロールし、

一人ひとりが『人生を経営する』ことが当たり前になる

社会を実現するために、その実現に向けて

アクサは皆さまの挑戦を応援するとともに、

共に歩んでいきたいと願っています。

目次

自営業者・個人事業主になるまでの歩み P.3

仕事内容・実現したいこととその変化 P.4

働き方に対する考えと満足度 P.6

自営業者・個人事業主の働き方の意識とリスクへの対策状況 ... P.8

理想の人生の内容と実現に向けての取り組み P.10

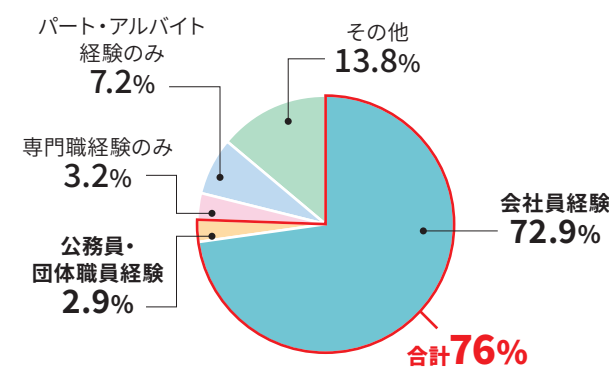
自営業者・個人事業主になるまでの歩み

自営業者・個人事業主になるまでに会社勤め(公務員・団体勤務含む)を経験した割合は76%でした。

また、現在の職業に就くまでには複数の職業の経験を積んでから自立した様子がうかがえます。自分で開業した割合は全体で8割であり、現在の職業に就いたきっかけとして、自分の夢や目標達成を挙げる人が多く、資格の取得を含め、約半数が自身の夢や目標に関する理由を持っていたことが判明しました。

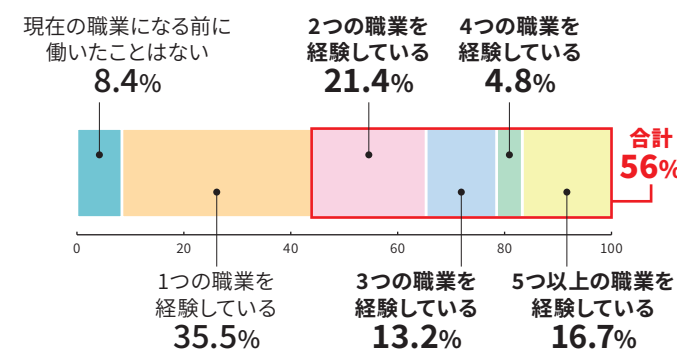
会社勤め経験者(公務員等含む) 76%

あなたが、「現在の職業」として働く以前の経験について
お選びください。



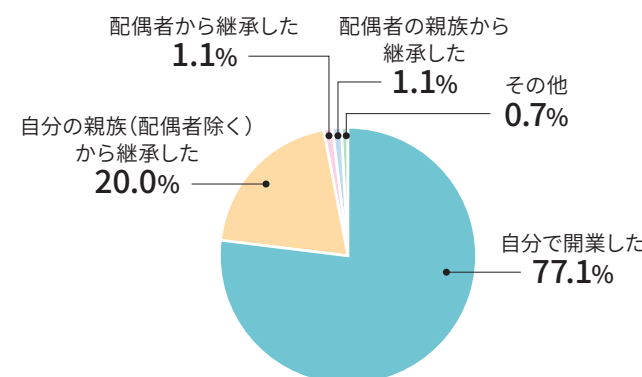
2つ以上の職業を経験しているのは56%

あなたは学校を卒業してから現在の職業として
働くまでに、いくつの職業を経験していますか。
※職業にはパート・アルバイトも含めてお答えください。



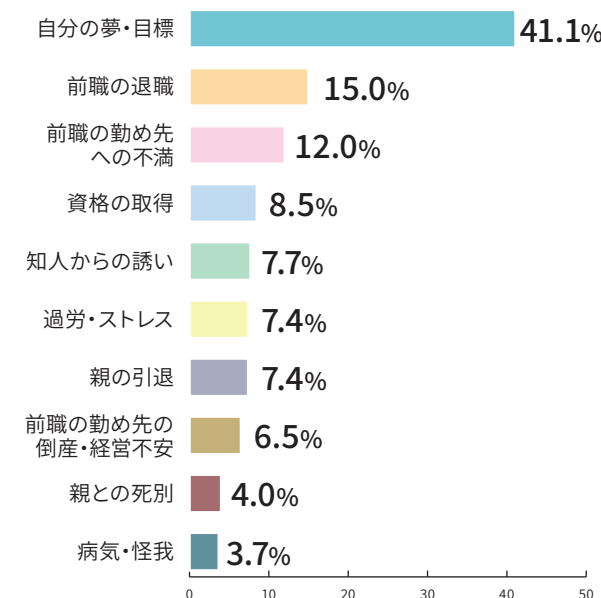
自身で開業は77%

あなたは、事業をご自身で開業しましたか。
それとも親族等から継承しましたか。



現在の職業に就いたきっかけ

あなたが「現在の職業」に就くきっかけとなったものをお選びください。
[複数回答形式] ※上位 10 位までを表示



仕事内容・実現したいこととその変化

多様な仕事のなか、多い職業は、建設関係、不動産関係、IT関係

3,000名の回答から多様な職業の実態が明らかになりました。
最も多い職業は「建設関係」(276名、9.2%)、次いで「不動産関係」(210名、7.0%)、「IT関係」(131名、4.4%) という結果になりました。

あなたの具体的な仕事についておしえてください。
【自由回答形式】※上位 10 位までを表示

1位	建設関係（建築士、大工、設計など）	276名	9.2%
2位	不動産関係（賃貸・オーナー、管理士、調査士など）	210名	7.0%
3位	IT 関係（システムエンジニア、プログラマー、IT コンサルタントなど）	131名	4.4%
4位	出版・メディア（ライター、イラストレーター、作家、編集など）	116名	3.9%
5位	美容・理容（美容師、理容師、エステティシャン、化粧品販売など）	111名	3.7%
6位	金融関係（投資家・トレーダー、FP、代理店など）	94名	3.1%
7位	医療・健康関係（カウンセラー、整体師、セラピスト、マッサージ師など）	87名	2.9%
8位	飲食関係（飲食店経営、オーナーなど）	86名	2.9%
9位	農林水産関係	83名	2.8%
10位	音楽関係（演奏家、講師、作曲家など）	73名	2.4%

多くの個人事業主は「自由度の高い働き方」を希望

現在の職業で実現したいことについては、「収入・生活・経営を安定させる」ことがトップであることが明らかになりました。これにより、まずは現在の事業基盤を強化し、持続可能な経営を目指す傾向がみられることがわかりました。つづいて2位は「事業を継続・拡大する」、3位は「お金をより稼ぐ・お金持ちになる」と事業の基盤を強化したのち、事業の成長や個人的な経済的成功を追求する傾向もみられました。職業別では、士業では「社会貢献する・人の役に立つ」こと、また個人事業主・フリーランスでは「自由な働き方をする・自由時間を確保する」が上位に入り、職業ごとに実現したいことの違いも明らかになりました。

現在の職業に就いた際に実現したいと思ったことは何ですか？【自由回答形式】※上位 10 位までを表示

1位	収入・生活・経営を安定させる	281名	13%
2位	事業を継続・拡大する	242名	11%
3位	お金をより稼ぐ・お金持ちになる	209名	10%
4位	自由な働き方をする・自由時間を確保する	202名	10%
5位	社会貢献する・人の役に立つ	84名	4%
6位	自分のペースや裁量で働く	71名	3%
7位	やりたいことをする・好きなことを仕事にする	59名	3%
8位	自立・独立する	58名	3%
9位	ワークライフバランスを確保する	51名	2%
10位	余裕のある生活をする	39名	2%

■職業別：士業

1位	社会貢献する・人の役に立つ	22名	14%
2位	収入・生活・経営を安定させる	20名	13%
3位	自由な働き方をする・自由時間を確保する	15名	10%
4位	お金をより稼ぐ・お金持ちになる	12名	8%
5位	自分のペースや裁量で働く	11名	7%

■職業別：小規模企業経営者

1位	事業を継続・拡大する	76名	25%
2位	お金をより稼ぐ・お金持ちになる	43名	14%
3位	収入・生活・経営を安定させる	41名	14%
4位	自由な働き方をする・自由時間を確保する	15名	5%
5位	社会貢献する・人の役に立つ	10名	3%

■職業別：自営業者

1位	収入・生活・経営を安定させる	105名	13%
1位	事業を継続・拡大する	105名	13%
3位	お金をより稼ぐ・お金持ちになる	74名	9%
4位	自由な働き方をする・自由時間を確保する	61名	8%
5位	社会貢献する・人の役に立つ	26名	3%

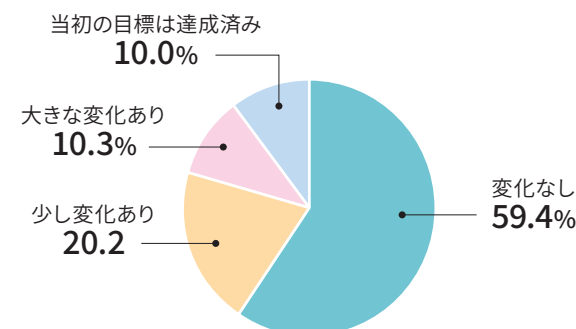
■職業別：個人事業主・フリーランス

1位	収入・生活・経営を安定させる	115名	13%
2位	自由な働き方をする・自由時間を確保する	111名	13%
3位	お金をより稼ぐ・お金持ちになる	80名	9%
4位	事業を継続・拡大する	53名	6%
5位	自分のペースや裁量で働く	32名	4%

「実現したいと思っていたこと」は6割近く変化なし

事業を始めた当初に実現したいと思っていたことと、現在の実現したいことは6割近くが変化がない一方、3割は少しまたは大きな変化が生じたと回答。変化した原因としては、「新型コロナウイルスの流行」がトップでしたが、売り上げの伸び悩みなどのほか、年齢や健康上の理由なども挙がりました。

あなたが「現在の職業」に就いた当初に実現したいと思っていたことと、現在の実現したいことに変化はありますか？変化の状況について最も近いものをお選びください。



当初の目標と現在の目標で変化が生じた理由
【自由回答形式】※上位10位までを表示(916名回答)

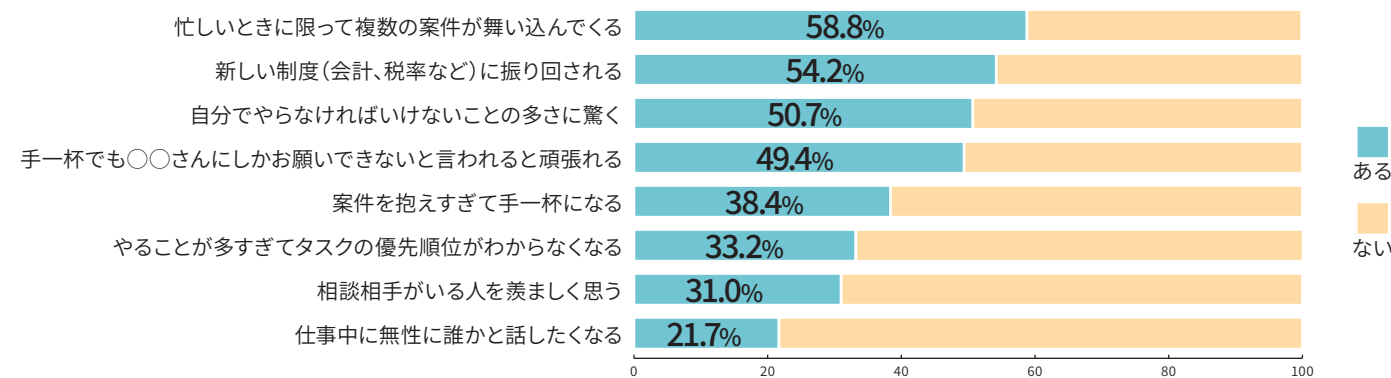
1位	新型コロナウイルスの流行	77名	8%
2位	収入・売上の減少・伸び悩み	59名	6%
3位	年齢的な問題	35名	4%
4位	健康状態	25名	3%
4位	不景気・景気の悪化	25名	3%
6位	環境の変化	24名	3%
7位	収入・売上の増加	18名	2%
8位	家族の問題	17名	2%
8位	時代の変化	17名	2%
10位	自身の考え方の変化	14名	2%
10位	理想と現実の相違	14名	2%

全体：916名 小規模企業経営者：162名
士業：50名 自営業者：346名 個人事業主・フリーランス：358名

一人で対応する自営業者・個人事業主だからこそ

現在の業務対応状況について聞いたところ、半数以上の方が、「忙しいときに限って複数の案件が舞い込んでくる」(58.8%)、「新しい制度（会計、税率など）に振り回される」(54.2%)、「自分でやらなければいけないことの多さに驚く」(50.7%) と回答しました。一方、「仕事中に無性に誰かと話したくなる」は5人に1人程度（21.7%）にとどまりました。一人で対応する自営業者・個人事業主だからこそこの経験であることがうかがえます。

「現在の職業」として、以下のことは、どのくらいありますか。



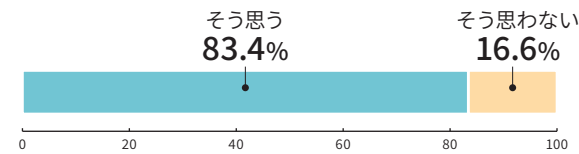
働き方に対する考えと満足度

現在の職業は“自由”を追求しやすい働き方8割

続いて、現在の働き方について聞きました。

現在の職業は“自由”を追求しやすい働き方だと思うと8割が回答しました。

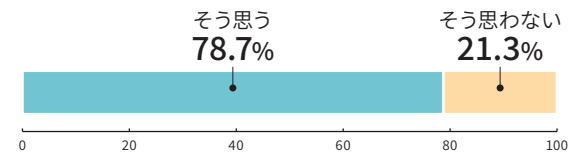
「現在の職業」は「自由」を追求しやすい働き方だと思いますか。



“自身の理想の人生”を追求しやすい働き方だと思う理由1位「自分の裁量で物事が決められる」

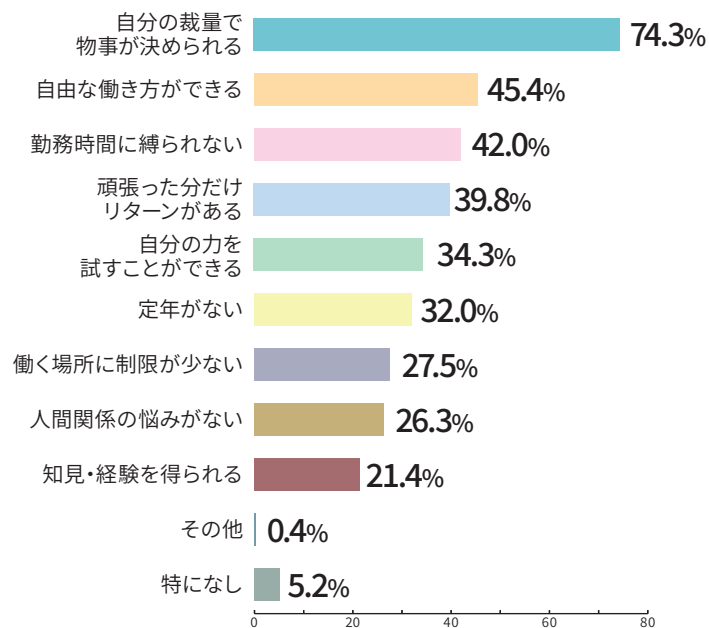
約8割の方が“自身の理想の人生”を追求しやすい働き方だと思うと回答し、その理由の1位は「自分の裁量で物事が決められる」でした。特に男女別で見ると、「勤務時間に縛られない」「自由な働き方ができる」「働く場所に制限が少ない」などで女性の方が回答する傾向が高くなりました。

「現在の職業」は「ご自身の理想の人生」を追求しやすい働き方だと思いますか。

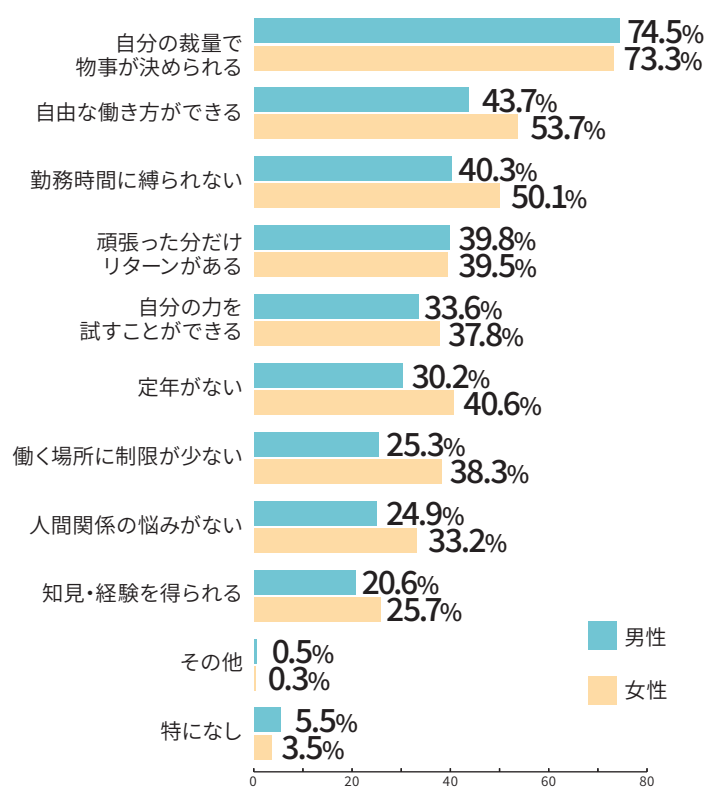


「現在の職業」が「ご自身の理想の人生」を追求しやすい働き方だと思う理由をお選びください。【複数回答形式】

【全体】



【男女別】

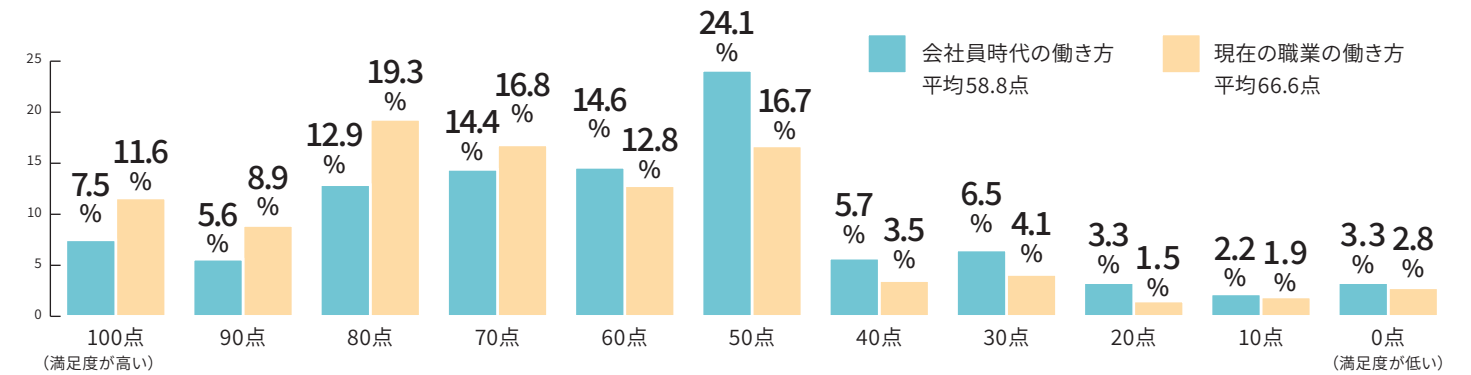


現在の働き方についての満足度は会社員時代と比べると高い

現在の働き方についての満足度は、平均66.0点でした。

特に会社員を経験している方の会社員時代の働き方が58.8点だったのに対し、現在は66.6点となり、総じて会社員時代よりも現在の働き方が自身に合っている・理想の働き方に近いと感じている人が多いことがわかりました。

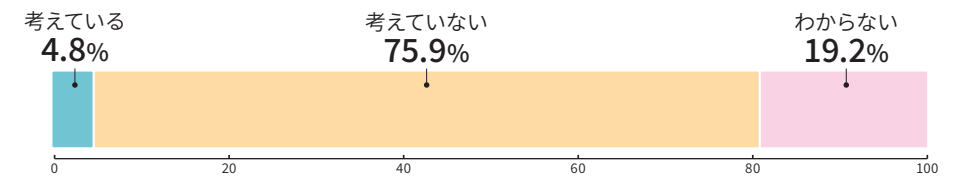
現在の職業と会社員時代のご自身の働き方の満足度を100点満点で表すと、何点になりますか。
※最も満足度が高い＝100点～最も満足度が低い＝0点として、あてはまるものをお選びください。（会社員経験者のみ回答）



将来的に企業等に雇用される形で働くことを考えているのは5%

将来的に企業等に雇用される形で働くことを考えているかについて聞いたところ、「将来的に考えている」は5%に留まりました。自らの自由度や意思決定の権限をもつ現在の働き方を重視し、企業に依存しない働き方を選んでいることが改めてうかがえます。

あなたは、将来的に企業等に雇用される形で働くことを考えていますか。



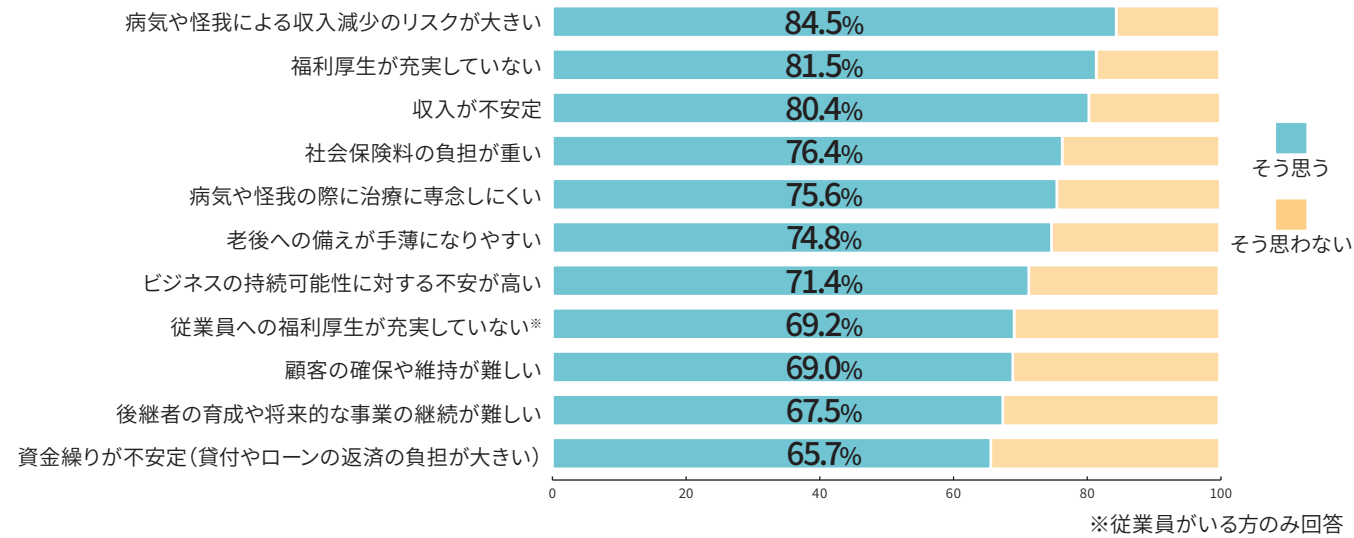
自営業者・個人事業主の働き方の意識とリスクへの対策状況

体調や収入面では不安な面も

現在の職業・働き方に関する意識として、「病気や怪我による収入減少のリスクが大きい」84.5%、「福利厚生が充実していない」81.5%、「収入が不安定」80.4%、などが8割以上そう思うと回答しました。

働き方の自由度が高い一方、自身が仕事を行う上での体調や収入面での不安をより意識されていることがわかりました。

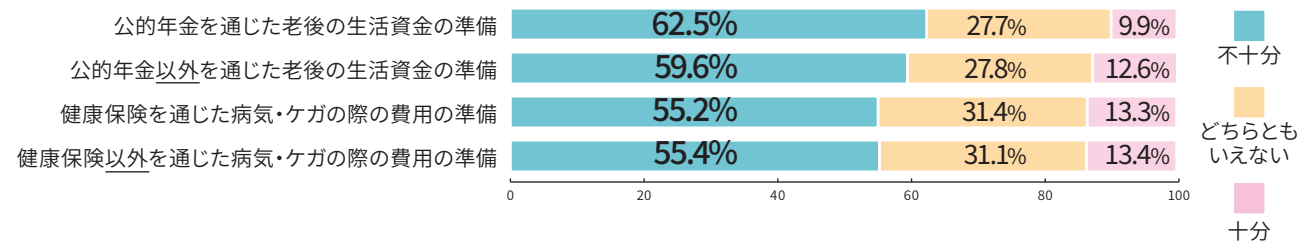
以下の内容について、どのくらいそう思いますか。



老後生活資金や、病気・ケガの費用は6割近くが準備不足と回答

公的年金や健康保険などの社会保険を通じた老後の生活資金や、病気・ケガの費用の準備については、6割近くが「不十分」とであると回答しました。また、公的年金や健康保険といった社会保険以外の準備も同様に6割近くが「不十分」と回答しています。

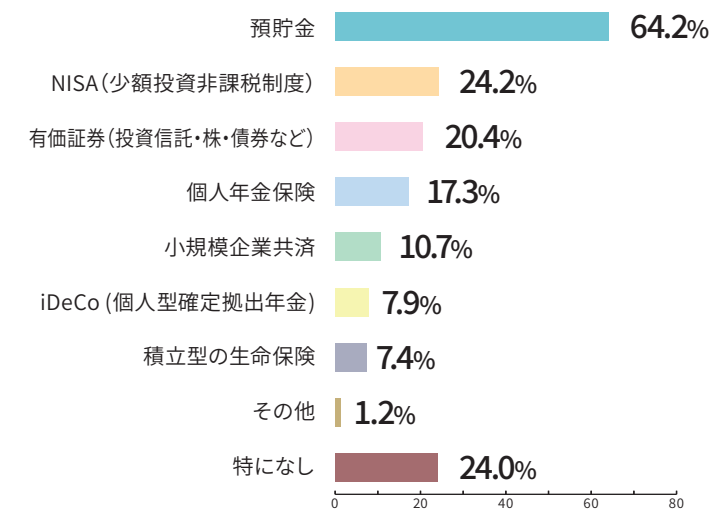
以下の内容について、ご自身の準備状況は十分ですか、不十分ですか。



老後の生活資金のための公的年金以外の準備状況 6割が預貯金で準備

老後の生活資金のために公的年金以外で準備しているものとしては、「預貯金」が6割、続いて「NISA(少額投資非課税制度)」「有価証券(投資信託・株・債券など)」「個人年金保険」がいずれも2割程度に留まりました。また、「特になし」の方は4人に1人程度であり、老後の生活資金に対する計画や備えの難しさや準備ができていない層が一定数いることがわかりました。

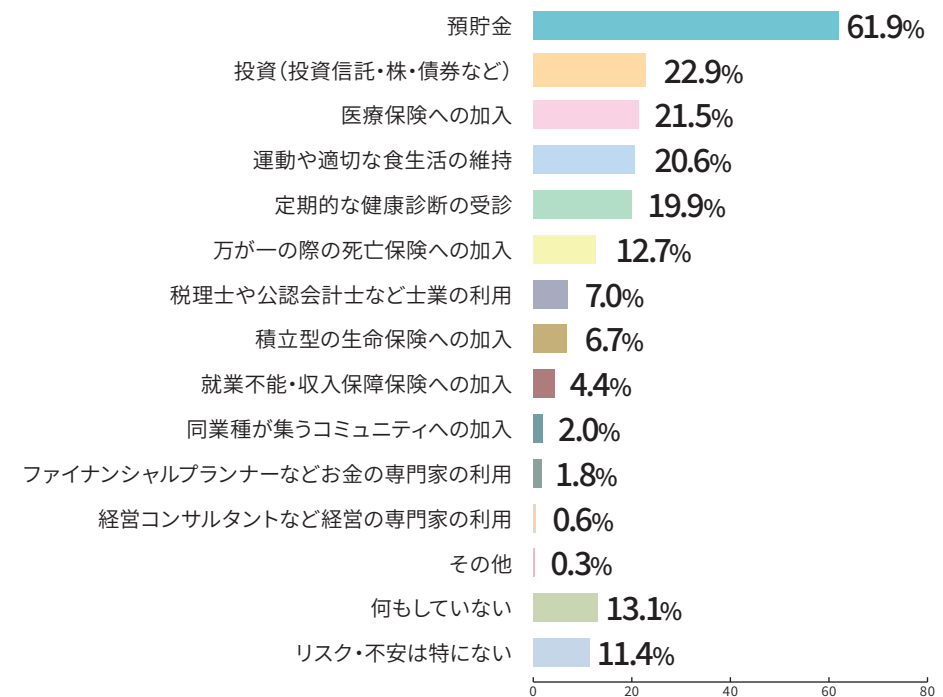
ご自身が老後の生活資金のために公的年金以外で準備しているものとして、あてはまるものをすべてお選びください。[複数回答形式]



現在の職業に対するリスク・不安に対して 預貯金を中心、リスク分散や専門的サポートは限定的

老後に限らずリスク・不安に対して準備しているものとしては、「預貯金」6割の他は、「投資(投資信託・株・債券など)」「医療保険への加入」「運動や適切な食生活の維持」「定期的な健康診断の受診」がそれぞれ2割程度でした。また、「税理士や公認会計士など士業の利用」は7%、「ファイナンシャルプランナーなどお金の専門家の利用」は2%で、リスク管理に関して専門家の助言を受けることが少なく、自らの判断に頼る傾向が強いこともうかがえます。

あなたが「現在の職業」のリスク・不安に対して準備しているものをお選びください。[複数回答形式]



理想の人生の内容と実現に向けての取り組み

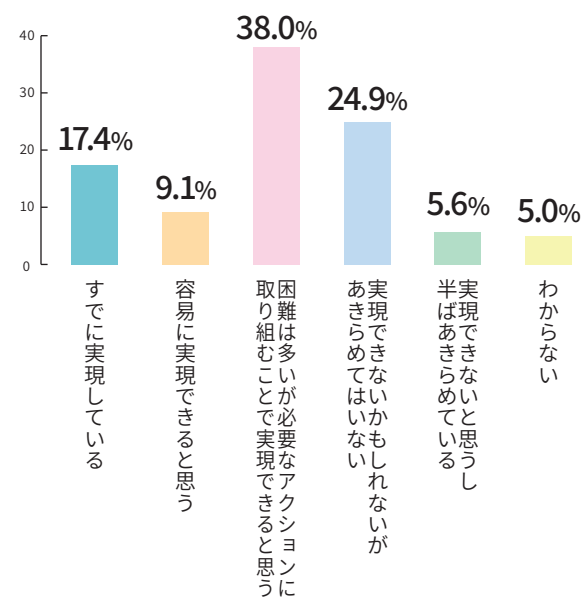
理想とする人生があるは5割 「自由・自分らしさ・やりたいこと」を実現する人生がトップ

自身が理想とする人生があると回答した方は5割で、理想とする人生として最も多かったのは「自由・自分らしさ・やりたいこと」を実現する人生で、自身の働き方や仕事を通じて実現に取り組む様子が見えてきます。続いて「家族・家庭」を大事にする人生が続きました。現在の実現度合は、「すでに実現している」が17%、「困難は多いが必要なアクションに取り組むことで実現できると思う」が38%でした。

あなたの「理想とする人生」とはどのような人生ですか。
(〇〇を大事にしている人生、〇〇を実現する人生など)
[自由回答形式] ※上位 10 位までを表示
対象: 理想とする人生がある人 (1,500名回答)

1位	自由・自分らしさ・やりたいこと	287名	19%
2位	家族・家庭	242名	16%
3位	人とのつながり・人間関係	112名	7%
4位	平穏・ゆとり・悠々自適	104名	7%
5位	健康・命	99名	7%
6位	趣味・楽しみ	98名	7%
7位	お金・豊かさ	88名	6%
8位	仕事の充実・成功	62名	4%
9位	夢・目標・成長	56名	4%
10位	時間	54名	4%

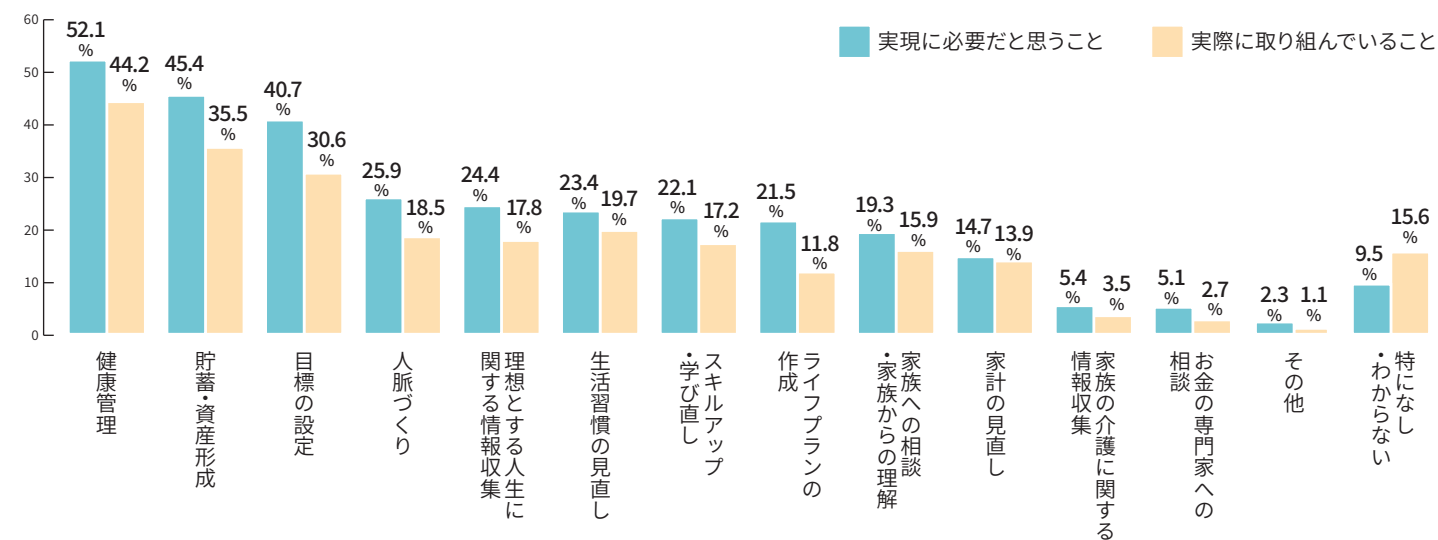
あなたは理想の人生を実現できると予想していますか。
対象: 理想とする人生がある人 (1,500名回答)



実現に向けての取り組みとして、「健康管理」「貯蓄・資産形成」「目標の設定」が上位に 一方で必要だが取り組めていない内容は、「貯蓄・資産形成」「目標の設定」「ライフプランの作成」

自身の理想とする人生の実現に向けて取り組む必要があることとして、「健康管理」52.1%、「貯蓄・資産形成」45.4%、「目標の設定」40.7%が上位3つとなりました。一方で実際に取り組んでいることとして、特にギャップが生じていた内容は「貯蓄・資産形成」(差9.9Pts)、「目標の設定」(差10.1pts)、「ライフプランの作成」(差9.7pts)と、必要性を感じながらもなかなか取り組めていない実態が明らかになりました。

あなたが、理想の人生の実現に必要なと思うこと、また、実現のために実際に取り組んでいることをお選びください。[複数回答形式]



年代別では、「目標の設定」は、すべての年代を通してその重要性は認識され、「健康管理」は40代以降特に必要だと認識されています。

理想の人生の実現に必要なと思うこと [複数回答形式] ※上位 5 位までを表示

■20代・30代

1位	目標の設定	44%
2位	貯蓄・資産形成	37%
3位	健康管理	24%
3位	スキルアップ・学び直し	24%
5位	人脈づくり	23%
5位	理想とする人生に関する情報収集	23%

■40代

1位	健康管理	50%
2位	貯蓄・資産形成	48%
3位	目標の設定	46%
4位	人脈づくり	30%
5位	ライフプランの作成	29%

■50代

1位	健康管理	47%
2位	貯蓄・資産形成	44%
3位	目標の設定	42%
4位	人脈づくり	26%
4位	理想とする人生に関する情報収集	26%

■60代

1位	健康管理	58%
2位	貯蓄・資産形成	46%
3位	目標の設定	36%
4位	人脈づくり	26%
5位	理想とする人生に関する情報収集	23%
5位	生活習慣の見直し	23%

■70代

1位	健康管理	71%
2位	貯蓄・資産形成	51%
3位	目標の設定	43%
4位	家族への相談・家族からの理解	32%
5位	ライフプランの作成	29%

アクサでは、自営業や個人事業主、フリーランスの皆さまに理想の人生の実現に向けて欠かせない目標の設定について、その設定のみにとどまらず「どのような人生を送るのか」という人生の目的、またその実現のために具体的な方向性や将来像を定める人生のビジョンへの気づきを通じて、将来のあるべき姿を考え、そこに至るまでの道筋をともに考えるライフマネジメント®コンサルティングを実施しています。ご自身の裁量も大きく自由度も高い働き方をされる中、自分の人生を経営するうえでより自信を持って、人生を歩めるようにアクサはサポートしていきます。

ライフマネジメント®



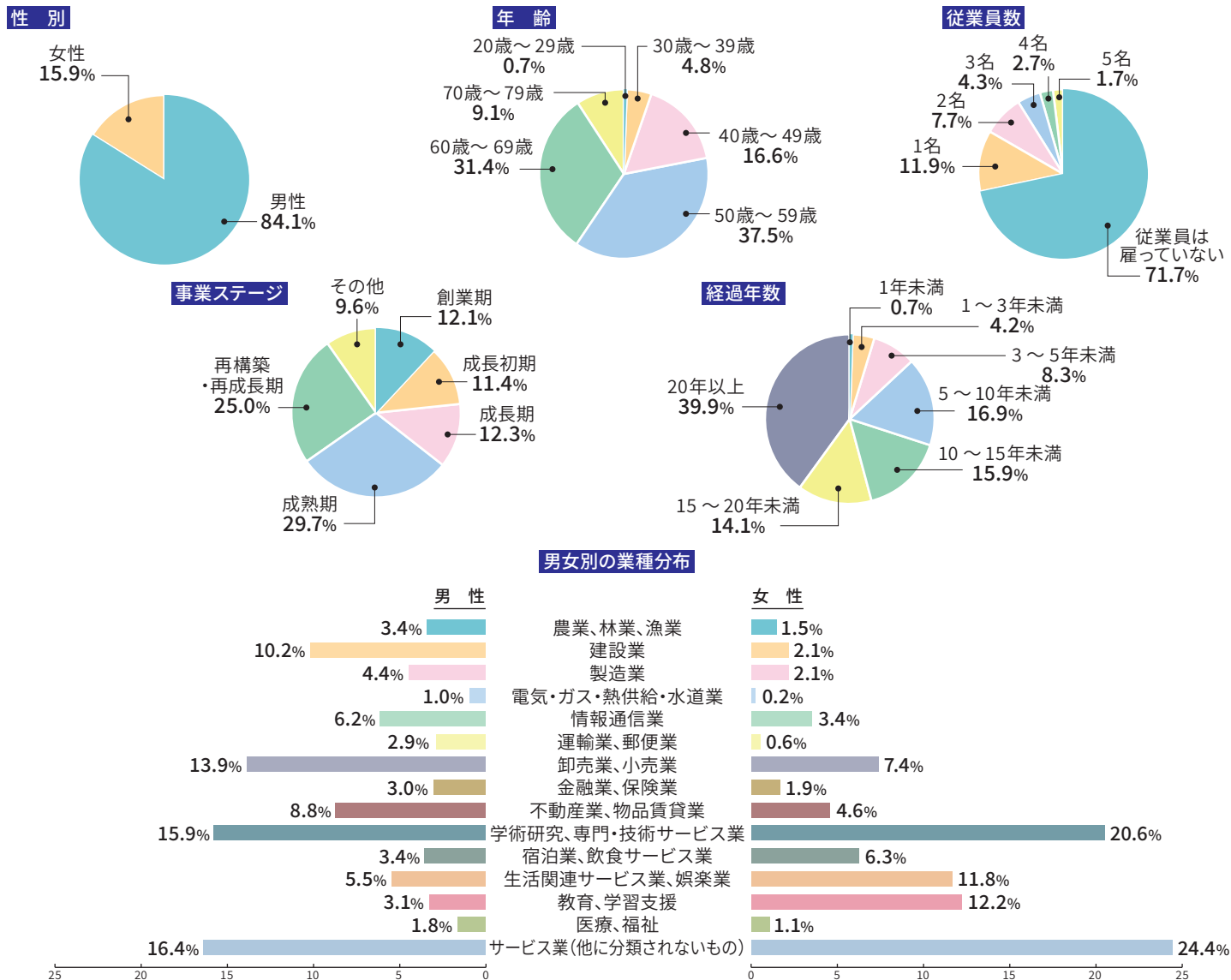
～人生を経営する～

ライフマネジメント®とは、国家経営、企業経営、組織経営、チーム経営などと同じく、『人生の目的、人生のビジョンに基づいて、将来のあるべき姿を考え、そこに至る道筋を構想し、そして、その実現に向けて、現実と向き合って進んでいくこと』

私たちは、すべての人々が人生を経営し、
自信を持って人生を歩んでいる社会を
創りあげることを目指します。

※「ライフマネジメント®」はアクサ生命保険株式会社の登録商標です。

プロフィール



調査概要

実施期間： 2024年8月6日～8月7日

調査対象： 自営業者・個人事業主 / フリーランス・士業（雇用されていない）・小規模企業経営者（5名以下）全国20-79歳男女、計3,000名

調査会社： ネットエイジア株式会社

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。

傘下にアクサ生命、アクサ損害保険(アクサダイレクト)の2社を擁しています。

アクサグループについて

アクサは世界51の国と地域で147,000人の従業員を擁し、9,400万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2023年の売上は1,027億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは76億ユーロ、2023年12月31日時点における運用資産総額は9,455億ユーロにのびります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、アクサの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

※アクサグループの通知は2023年1月～12月の業績です。



アクサ・ホールディングス・ジャパン

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 03-6737-7700 (代表)

www.axa-holdings.co.jp/

お問合せ先

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

コミュニケーション&サステナビリティ

TEL 03-6737-7140